

東山香小学校



東山香小学校の閉校記念式典が3月13日に行われました。

明治43年に広求尋常小学校、小武尋常小学校、倉成尋常小学校が統合し、東山香尋常高等小学校となったのが東山香小学校の始まりです。その後、106年にわたって地域に親しまれてきました。

昭和42年には、文部省指定「保健体育」研究校公開研究発表会を行い、表彰をうけたこともあります。

最後の運動会には、卒業生や地域の方など500人以上が集まりました。

読み聞かせも、保護者が出勤前の時間を使って始めたものです。桑原さんも初めは保護者として参加。お子さんが卒業してから（ピノキオの会）として読み聞かせを続けてきました。



くわばら なつこ
桑原 奈津子さん

「大分市から引越してきたんですが、地域も学校も家族のように温かくて、親子ともどもすぐに馴染むことができました。」

「少ない人数のため、保護者も協力し合って行事を行ってきました。達成感をみんなに分かち合えることをありがた

「何年も読み聞かせを続けていると、子どもたち自ら見よ

「1日に何回もあいさつをしてくれるので、たくさん人がいるような気になるんですね（笑）。帰りは校長室の窓を叩いて『さよなら』と言ってくれます。」

少

人数の学校ですが、まるで100人いるよう



記念DVDでアナウンサーとなる児童たち

「いろんなことをしてきたので、自信を持って新しい学校に行ってください。支えてくれる地域の人も側にいます。」



おくみかき
奥 研先生

全校アートや学校に牛を呼ぶでの酪農体験も、児童の希望から実現した行事です。」

少

人数の学校ですが、まるで100人いるよう

「子どもたちには、東山香で育った誇りを胸に、新しい学校でもたくさんの友達と仲良くしてほしいと思います。」

「自分たちの学校がなくなるというのはもちろん、子ども



おかた あつみ
緒方 伍さん

「中学生が可愛がってくれたのを覚えています。仲よく遊んでくれました。」

「中学生が可愛がってくれたのを覚えています。仲よく遊んでくれました。」

「中学生が可愛がってくれたのを覚えています。仲よく遊んでくれました。」

と

校です。先生と児童が

家族のようで、ほんわかに

温かい雰囲気があります。」

小さな学校ならではの良さを

を感じたと話してくれたのは、山浦小学校最後の校長とな

った寺田好孝先生です。

最後の1年間は、これまで以上に地域との関わりが多

かったといえます。

「雲ヶ岳の登山は高学年だけが

が行っていたんですが、最後の

の年なので全員で登りました。

1年生もいるので、いつもより多くの地域の方に一緒に

登っていただきました。他にも、山浦ご長寿まつりで児童

が歌を披露したり、一緒にちつきや植樹をしました。」

最後の年は、去年までの目

標《向上心くやる気、負けん

気》にひとつ付け加え、《向上

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

心くやる気、負けん気、そして

たちの声やチャイムが聞こえなくなるのは寂しい。子どもたちには、新しい学校に早く慣れて頑張ってもらいたいです。」

チャレンジ』を目標に頑張りました。

「何事にも臆することなく一歩踏み出してもらいたい。新しい学校でも、自分らしさを出せるようにしてほしいです。」



てらだ よしたか
寺田 好孝先生

「地域のみなさんには大変お世話になり、感謝の言葉以外ありません。通う小学校が変わっても、子ども達は山浦地域で生活していくので、また声かけなどをしてもらえたらありがたいなと思います。」



閉校記念式典での合奏

3月6日、山浦小学校の閉校記念式典が行われました。143年間にわたり地域に親しまれてきた山浦小学校は、明治7年にお寺を仮校舎として開校。当時は山裡学校という名前でした。

戦後間もない頃から音楽教育に力を入れ、「山の中の音楽学校」と新聞で紹介されたこともあります。昭和28年・29年には、2年連続で郷土音楽祭の最優秀校に輝きました。

音楽との繋がりが深い山浦小学校らしく、閉校記念式典は児童全員と先生による合奏で幕を下ろしました。



山浦小学校